

専門実践教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	37	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	41	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	37	人	受験率(③/②)	90.2	%
④ ③のうち合格者数	36	人	合格率(④/③)	97.2	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	36	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	37	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	1			
	2 非正社員、派遣社員		人		
	3 その他の就業(自営業等)		人		
	4 非就業	37	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ		人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる		人		
	3 社内外の評価が高まる		人		
	4 円滑な転職に役立つ		人		
	5 趣味・教養に役立つ		人		
	6 その他の効果		人		
	7 特に効果はない		人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	15	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる	15	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	2	人		
	4 趣味・教養に役立つ	1	人		
	5 その他の効果	1	人		
	6 特に効果はない	3	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	36	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した		人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した		人		
	4 就職していない	1	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	6	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	21	人		
	3 どちらとも言えない	7	人		
	4 やや不満	2	人		
	5 大いに不満	1	人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況)、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	単位認定試験、実習評価で到達度を測る。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

専門実践教育訓練明示書（様式例）

6. 受講効果の把握方法																			
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	各科目に係る出席すべき時間の3分の2に達した者は、その科目について試験を受ける資格を得ることができ、60%以上を合格とする。																		
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	カリキュラムの進行に応じた試験を実施し、技能・知識レベルに達していない場合は、再試験・再実習を実施し、教育目標のレベルに達するまで、担当教員が指導する。																		
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	本校に3年以上在学し、当校が定める必要な単位を修得していること。欠席日数が出席すべき日数の3分の1未満である者に対して卒業認定をする。																		
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	カリキュラムの進行に応じた試験を実施し、技能・知識レベルに達していない場合は、再試験・再実習を実施し、教育目標のレベルに達するまで、担当教員が指導する。																		
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法																			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	質問を随時受け付け、希望に応じて個別指導を行っている。																		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例：資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	定期的に校内の模擬試験を行っている。就職関連へのバックアップは、随時面接を行い、指導している。																		
8. その他の事項																			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人 国際医療福祉大学 (代表者名： 高木 邦格)																		
住所及び連絡先	栃木県大田原市北金丸2600番地1 TEL 0287-24-3000																		
施設名称及び施設長名	国際医療福祉大学塩谷看護専門学校 (施設長： 須田 康文)																		
住所及び連絡先	栃木県矢板市富田77-6 TEL 0287-44-2322																		
苦情受付者	氏名 石崎 友子 所属 事務部	事務担当者	氏名 八木澤 舞華 所属 事務部																
連絡先	TEL 0287-44-2322	連絡先	TEL 0287-44-2322																
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 1,900,000 円																		
支払い方法	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) 200,000 円																		
① 一括払																			
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)																		
③ 両方可	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="text-align: right;">1,700,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 10px;">第1期</td> <td style="text-align: right;">650,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 10px;">第2期</td> <td style="text-align: right;">250,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 10px;">第3期</td> <td style="text-align: right;">250,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 10px;">第4期</td> <td style="text-align: right;">250,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 10px;">第5期</td> <td style="text-align: right;">250,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 10px;">第6期</td> <td style="text-align: right;">250,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 10px;">(うち、必須教材費</td> <td style="text-align: right;">200,000 円)</td> </tr> </table>				1,700,000 円	第1期	650,000 円	第2期	250,000 円	第3期	250,000 円	第4期	250,000 円	第5期	250,000 円	第6期	250,000 円	(うち、必須教材費	200,000 円)
	1,700,000 円																		
第1期	650,000 円																		
第2期	250,000 円																		
第3期	250,000 円																		
第4期	250,000 円																		
第5期	250,000 円																		
第6期	250,000 円																		
(うち、必須教材費	200,000 円)																		
2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 760,000 円																			
① 任意の教材費 (税込額) 160,000 円																			
② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額) 0 円																			
③ 施設維持費 (税込額) 600,000 円																			
④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税) 0 円																			
3. 総額 (1+2) (税込額) 2,660,000 円																			

2. 教育訓練の内容

教科 (カリキュラム)	時間	使用教材
基礎分野		
論理学	30	配布資料
生活の科学	30	平田雅子『完全版「ベッドサイドを科学する—看護に活かす物理学」改訂第3版』改訂第3版 1日20分10日のできる 看護計算ドリル 第2版
教育学	15	新体系 看護学全書 基礎科目 教育学
情報科学Ⅰ	15	コメディカル教育のための 情報リテラシーとコンピュータの基礎
情報科学Ⅱ	15	コメディカル教育のための 情報リテラシーとコンピュータの基礎
心理学	30	系統看護学講座 基礎分野 心理学
人間関係論	30	配布資料
生命倫理	30	なし
環境論	30	配布資料
保健体育	16	なし
音楽 (選択必修)	16	なし
美術 (選択必修)		配布資料
英語Ⅰ	30	Communication Spotlight 3rd Edition : Starter : ABAX ETC Publishing
英語Ⅱ	30	English for Medicine —医療・看護のためのやさしい総合英語—
経済学	15	特に指定しない
専門基礎分野		
解剖生理学Ⅰ	30	系統看護学講座 人体の構造と機能1 解剖生理学
解剖生理学Ⅱ	30	系統看護学講座 人体の構造と機能1 解剖生理学
生化学	30	系統看護学講座 人体の構造と機能2 生化学
栄養学	15	系統看護学講座 人体の構造と機能3 栄養学
病理学	30	系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進1 病理学
微生物学	30	系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進4 微生物学
薬理学	30	系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進3 薬理学
疾病と治療Ⅰ	15	系統看護学講座 成人看護学2 呼吸器
疾病と治療Ⅱ	30	系統看護学講座 成人看護学3 循環器 系統看護学講座 成人看護学4 血液・造血器
疾病と治療Ⅲ	30	系統看護学講座 成人看護学6 内分泌・代謝 系統看護学講座 成人看護学8 腎・泌尿器 系統看護学講座 成人看護学11 アレルギー 膠原病 感染症
疾病と治療Ⅳ	30	系統看護学講座 成人看護学7 脳・神経 系統看護学講座 成人看護学13 眼
疾病と治療Ⅴ	15	系統看護学講座 成人看護学14 耳鼻咽喉 系統看護学講座 成人看護学12 皮膚
疾病と治療Ⅵ	15	系統看護学講座 成人看護学10 運動器
疾病と治療Ⅶ	30	系統看護学講座 成人看護学15 歯・口腔 系統看護学講座 成人看護学5 消化器
疾病と治療Ⅷ	15	系統看護学講座 成人看護学8 腎・泌尿器 系統看護学講座 成人看護学9 女性生殖器
リハビリテーション療法	15	系統看護学講座 別巻 リハビリテーションと看護
医療概論	15	系統看護学講座 総合医療論 健康支援と社会保障制度①
運動と健康	15	配布資料
公衆衛生	30	系統看護学講座 健康支援と社会保障制度[2] 公衆衛生 国民衛生の動向
社会福祉Ⅰ	15	系統看護学講座 健康支援と社会保障制度 [3] 社会福祉

社会福祉Ⅱ	15	系統看護学講座 健康支援と社会保障制度 [3] 社会福祉
関係法規	30	系統看護学講座 健康支援と社会保障制度 [4] 看護関係法令 国民衛生の動向 日本の移植事情
専門分野		
看護学概論	30	新体系 看護学全書 基礎看護学① 看護学概論 V. ヘンダーソン「看護の基本となるもの」 F. ナイチンゲール「看護覚え書」 看護者の基本的責務
看護コミュニケーション	15	新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 看護がみえる 基礎看護技術 VOL. 1
日常生活援助技術Ⅰ	30	新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 新体系 看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 看護がみえる 基礎看護技術 VOL. 1 看護診断ハンドブック 第12版
日常生活援助技術Ⅱ	15	新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 新体系 看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 看護がみえる 基礎看護技術 VOL. 1 看護診断ハンドブック 第12版
日常生活援助技術Ⅲ	30	新体系 看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 看護がみえる 基礎看護技術 VOL. 1 看護診断ハンドブック 第12版
日常生活援助技術Ⅳ	30	新体系 看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 看護がみえる 基礎看護技術 VOL. 1 看護診断ハンドブック 第12版
臨床看護技術	30	新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 新体系 看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 新体系 看護学全書 基礎看護学④ 臨床看護総論 看護がみえる 基礎看護技術 VOL. 1 看護がみえる 臨床看護技術 VOL. 2 看護がみえる フィジカルアセスメント VOL. 3 看護がみえる 看護過程の展開 VOL. 4 看護診断ハンドブック 第12版
診療に伴う技術Ⅰ	30	新体系 看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 新体系 看護学全書 基礎看護学④ 臨床看護総論 看護がみえる 臨床看護技術 VOL. 2
診療に伴う技術Ⅱ	30	新体系 看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 新体系 看護学全書 基礎看護学④ 臨床看護総論 看護がみえる 基礎看護技術 VOL. 1 看護がみえる 臨床看護技術 VOL. 2
ヘルスアセスメント	30	新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 看護がみえる フィジカルアセスメント VOL. 3 看護診断ハンドブック 第12版
看護理論	15	看護学の概念と理論 新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 看護がみえる 看護過程の展開 VOL. 4
看護過程	30	新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 看護がみえる 看護過程の展開 VOL. 4 看護診断ハンドブック 第12版
基礎看護学演習Ⅰ	16	なし
基礎看護学演習Ⅱ	16	なし
地域・在宅看護概論	30	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア 国民衛生の動向
地域・在宅看護方法論Ⅰ（	30	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア 国民衛生の動向
地域・在宅看護方法論Ⅱ	15	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術
地域・在宅看護方法論Ⅲ	15	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術
地域・在宅看護方法論Ⅳ	15	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術
地域・在宅看護方法論Ⅴ	15	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術
精神看護学概論	30	新体系看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論/精神保健
精神障害・疾患の理解	15	新体系看護学全書 精神看護学② 精神障害を持つ人の看護

精神障害者の看護	15	新体系看護学全書 精神看護学② 精神障害を持つ人の看護 看護実践のための根拠が分かる 精神看護技術
精神看護学事例演習	16	新体系看護学全書 精神看護学② 精神障害を持つ人の看護 看護実践のための根拠が分かる 精神看護技術
成人看護学概論	30	新体系看護学全書 成人看護学① 成人看護学概論／成人保健 系統看護学講座 別巻 臨床外科総論 看護学テキスト NiCE 成人看護学 成人看護技術
健康レベルに応じた看護	30	新体系看護学全書 成人看護学① 成人看護学概論／成人保健 系統看護学講座 別巻 臨床外科総論 看護学テキスト NiCE 成人看護学 成人看護技術
機能障害に応じた看護Ⅰ	15	系統看護学講座 成人看護学2 呼吸器 系統看護学講座 成人看護学4 血液・造血器 看護学テキスト NiCE 成人看護学 慢性期看護
機能障害に応じた看護Ⅱ	30	系統看護学講座 成人看護学3 循環器 系統看護学講座 成人看護学5 消化器 看護学テキスト NiCE 成人看護学 成人看護技術
機能障害に応じた看護Ⅲ	30	系統看護学講座 成人看護学7 脳・神経 系統看護学講座 成人看護学10 運動器 系統看護学講座 成人看護学12 皮膚 系統看護学講座 成人看護学13 眼 系統看護学講座 成人看護学14 耳鼻咽喉 看護学テキスト NiCE 成人看護学 慢性期看護 看護学テキスト NiCE 成人看護学 成人看護技術
機能障害に応じた看護Ⅳ	30	系統看護学講座 成人看護学6 内分泌・代謝 系統看護学講座 成人看護学8 腎・泌尿器 系統看護学講座 成人看護学9 女性生殖器 系統看護学講座 成人看護学11 アレルギー 膠原病 感染症 看護学テキスト NiCE 成人看護学 慢性期看護 看護学テキスト NiCE 成人看護学 成人看護技術
成人期における看護過程の展開	16	指示あり
老年看護学概論	30	ナーシング・グラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害 国民衛生の動向
高齢者への生活援助技術	30	ナーシング・グラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害 ナーシング・グラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践
高齢者の健康障害に応じた看護	30	ナーシング・グラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害 ナーシング・グラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践
高齢者への退院支援	16	ナーシング・グラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害 ナーシング・グラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践 国民衛生の動向
小児看護学概論	30	新体系看護学全書 小児看護学① 小児看護学概論／小児保健 国民衛生の動向
小児看護学方法論Ⅰ	30	新体系看護学全書 小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護
小児看護学方法論Ⅱ	15	新体系看護学全書 小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護
小児看護学方法論Ⅲ	30	新体系看護学全書 小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護
母性看護学概論	30	看護学テキストNiCE 母性看護学Ⅰ概論・ライフサイクル 国民衛生の動向
妊娠期の健康を守る	15	看護学テキストNiCE 母性看護学Ⅱマタニティサイクル 新訂版 写真でわかる母性看護技術アドバンス
分娩期の健康を守る	15	看護学テキストNiCE 母性看護学Ⅱマタニティサイクル 新訂版 写真でわかる母性看護技術アドバンス
産褥期と新生児期の健康を守る	30	看護学テキストNiCE 母性看護学Ⅱマタニティサイクル 新訂版 写真でわかる母性看護技術アドバンス
医療安全	30	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践② 医療安全
看護管理	15	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理
災害看護・国際看護	30	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践③ 災害看護
看護研究	30	なし
多重課題演習	16	なし
基礎看護学実習Ⅰ	45	
基礎看護学実習Ⅱ	90	
地域・在宅看護論実習Ⅰ	45	
地域・在宅看護論実習Ⅱ	90	

成人看護学実習	45	
経過別看護実習 I	90	
経過別看護実習 II	90	
老年看護学実習 I	90	
老年看護学実習 II	90	
小児看護学実習	90	
母性看護学実習	90	
精神看護学実習	90	
統合実習	90	